

「経費を抑え、尚且つ環境に配慮できる」

事業者の仲間になりませんか？



紙類を可燃ごみと一緒に廃棄してしまうと・・・、運搬費のほかに清掃工場に処理手数料を支払うことになります。

※処理手数料は 1kg あたり 15.5 円かかります。また、処理手数料は今後も上昇することが予測されます。

港区が実施した調査の結果、可燃ごみの約半分が「資源となる紙」となっています。

それらを適正に分別し「資源」になると、処理手数料はかからず運搬費のみの支払いとなり、処理料金の節約になります。

この仕組みを取り入れ、経費を削減している事業者が年々増加しています。

「ごみは高額・資源は安価」という認識が、環境に良い好循環リサイクルの構築につながります。

是非、皆さんも「環境にやさしい事業者」となるよう、ご検討をお願いします。

これまでの受賞者一覧

年 度	規 模	建築物名称
H25	5,000㎡以上	赤坂榎坂森ビル
		第一田町ビル
		パナソニック東京汐留ビル
		三井住友信託銀行芝ビル
H26	5,000㎡以上	アイネス赤坂ビル
		八洲ビル
		伊藤忠商事株式会社東京本社ビル
		ホンダ青山ビル
H27	5,000㎡以上	三菱UFJ信託銀行港南ビル
		大和ライフネクスト株式会社本社ビル
		NBFプラチナタワー
		JR品川イーストビル

年 度	規 模	建築物名称
H27	5,000㎡以上	虎ノ門2丁目タワー
	1,000㎡以上5,000㎡未満	中野ビル
H28	5,000㎡以上	SME乃木坂ビル
		東京都立芝商業高等学校
H29	5,000㎡以上	日立ハイテクビルディング
		品川シーズンテラス
		三菱東京UFJ銀行芝ビル
		ヤクルト本社ビル
H30	5,000㎡以上	虎ノ門Aビル
		東亜合成ビル
		共栄火災新橋本社ビル
		東京都立青山特別支援学校校舎棟

受賞者の皆様の取組については、
港区公式ホームページをご覧ください！
以下の場所に取組内容をまとめた
リーフレットが掲載されています。



ホーム >暮らし・手続き > ごみ・リサイクル > 事業者の方 > 事業用大規模建築物
(延床面積1,000㎡以上)の所有者及び事業者の皆さんへ

令和元年度

港区ごみ減量優良事業者等表彰 受賞者の紹介

受 賞 者

- えぬていー どこも しながわ
- NTT ドコモ品川ビル
 - がっこうほうじんしょうえいじょし がくいん
 - 学校法人頌栄女子学院



港区
リユースキャラクター
リユー助

(五十音順)



港区
リサイクルキャラクター
エコル

港区は、事業所が集積する都心区という地域特性から、区内から排出されるごみの大部分を「事業系ごみ」が占めるという特徴があります。

「事業系ごみ」の減量を着実に進めるためには、事業者による“ごみの発生抑制”“リサイクル（資源化）への取組”が必要不可欠となっています。

そのため「事業系ごみ」の減量とリサイクルの一層の推進を図るために、2009年度に「港区ごみ減量優良事業者等表彰制度」を創設し、模範的な取組により、高いリサイクル率を達成するなどの顕著な実績を上げている事業者等を表彰しています。

これらの優良事業者の模範的で優れた取組事例を、区のホームページなどで広く紹介することや、区内事業所への立入指導の際に効果的に活用し、事業者による更なる自主的な取組を促進し、「事業系ごみ」の減量・資源化を図るための一助として役立てていきます。

NTTドコモ 品川ビル

受 賞 者	株式会社 NTTドコモ
建 物 所 在 地	港南 2-1-65
延 床 面 積	74,296 m ²



表彰理由

適正な手元分別を行うため、わかりやすい分別表示や回収容器設置の工夫に加え、廃棄物の実量測定による排出量の把握と適正管理などの取組が評価されました。



分別表示



ごみ箱設置状況



計量器にて廃棄物を
15品目毎に測定した
排出量の把握と適正な管理

受賞者の声

NTTドコモ品川ビルは、2003年3月に竣工した、地上29階、塔屋1階、地下2階建てで、地下1階にごみ集積場を有しております。現在は約1,100名の社員が勤務しております。

また、当ビルにはネットワーク運用の心臓部ともいえる全国で2拠点あるネットワークオペレーションセンターのうちの1つが稼働しており、主に北海道から東海エリアを管轄しネットワーク装置を24時間365日監視する業務も有しております。そのため、ごみの分別に関しても「誰がいつ見てもわかりやすい」工夫を行っております。

1. ごみの分別廃棄の徹底及び細かな分類によるリサイクルの促進
 - ・フロア毎に「可燃ごみ」、「不燃ごみ」、「缶・ビン」、「ペットボトル」、「弁当ガラ」等分類したごみ箱を設置し、独自に作成した分別表示を種類毎に詳細に記載し、わかりやすい分別の工夫を行っております。
 - ・オフィスの机周り等個人のごみ箱は設置せず、各自が共用部にて適正な手元分別を行っています。
2. ごみ集積場での適正管理
 - ・廃棄物を15品目毎に測定し、排出量の把握と適正な管理を行っております。
3. ドコモグループとしての活動
 - ・環境データ管理システムを用い「事務用紙」「電気量」「水道量」「一般廃棄物（分類別）」の使用量をデータ集計し、前年差を確認できる環境を構築し、NTTドコモグループ全体として環境保全に積極的に取り組んでいます。

環境への配慮として廃棄物の削減に取り組むこと及びリサイクル推進は、社会に対して果たすべき重要な責任であると考えております。今後も工夫・見直しを実施して、更なるごみの減量とリサイクル率の向上に取り組んで参ります。

学校法人 頌栄女子学院

受 賞 者	学校法人 頌栄女子学院
建 物 所 在 地	白金台 2-26-5
延 床 面 積	13,139 m ²



表彰理由

生徒の適正な手元分別により、良好な分別状態を維持しながら、各自が水筒を持参しペットボトル等の排出を抑制するリデュースの取組が評価されました。



廃棄物保管場所では
「ゴミ置場分別当番」が、
運ばれてくるゴミの分別確認・指導を
行っています

集められたペットボトルキャップが
生まれ変わり「復興伝承杭」となり
中庭に設置されています



廃棄物保管場所の様子



分別容器の設置状況

受賞者の声

頌栄女子学院は、港区白金台にある創立135年を迎えたキリスト教主義の女子校です。中学生高校生合わせて約1,300名の生徒と約100名の教職員がそこで共に学院生活を送っています。

本校では、ゴミの分別・リサイクルに学校全体で取り組んでいます。日々の活動としては、生徒によるゴミの分別当番があります。高校2年生の当番2名が順番で放課後ゴミ置き場に立ち、清掃後ゴミを捨てにくる下級生のゴミの分別ができていないかを確認し、その場で指導しています。また、教員室ではゴミ箱やリサイクル用の箱を7つ用意して細かく分別しています。個人情報があるものとないものを区別し、個人情報のないものはリサイクルに回すことを徹底して行っています。学院生活の中で特に大量の廃棄物が出るのがコ・ラーナズ・デイ（研究発表会、一般の学校の文化祭にあたるもの）とバザーです。これらの行事での廃棄物は主に模造紙と段ボールですが、毎年、生徒会と高校3年生の有志が中心となって種類別に紙を分けてきちんと束ねて、学校のある白金猿町町会に引き取っていただき、町会の資源リサイクル活動に協力をしています。

本校の生徒会は、東日本大震災の復興支援活動を継続して行っていますが、その一環としてペットボトルキャップを回収しています。教員室にもペットボトルキャップ専用の回収容器が置いてありますし、生徒会室には生徒が家で集めたキャップを入れる大きな箱が用意してあります。このペットボトルキャップは震災を伝える『復興伝承杭』として生まれ変わりますが、その1本が本校の中庭に設置されています。

この度、本校のゴミの分別・リサイクルの活動を評価していただいたことを励みに、さらに意識を高めてこの活動を継続していきたいと思っています。